

◆まちづくりとの連携について

～人吉市都市計画マスタープラン（平成15年3月策定）抜粋～

（５）河川整備方針

人口密度が高く緑の比較的小さい東地域において、河川は市街地に潤いをもたらす貴重な自然資源であるので、河川改修等により防災性向上を図ると共に、水質改善や水辺環境の保全等、自然資源としての質的向上を図る。同時に、遊歩道や水辺のポケットパークの整備等により、積極的にまちづくりに活用する。

○球磨川ー中心市街地と連携した観光資源としての活用ー

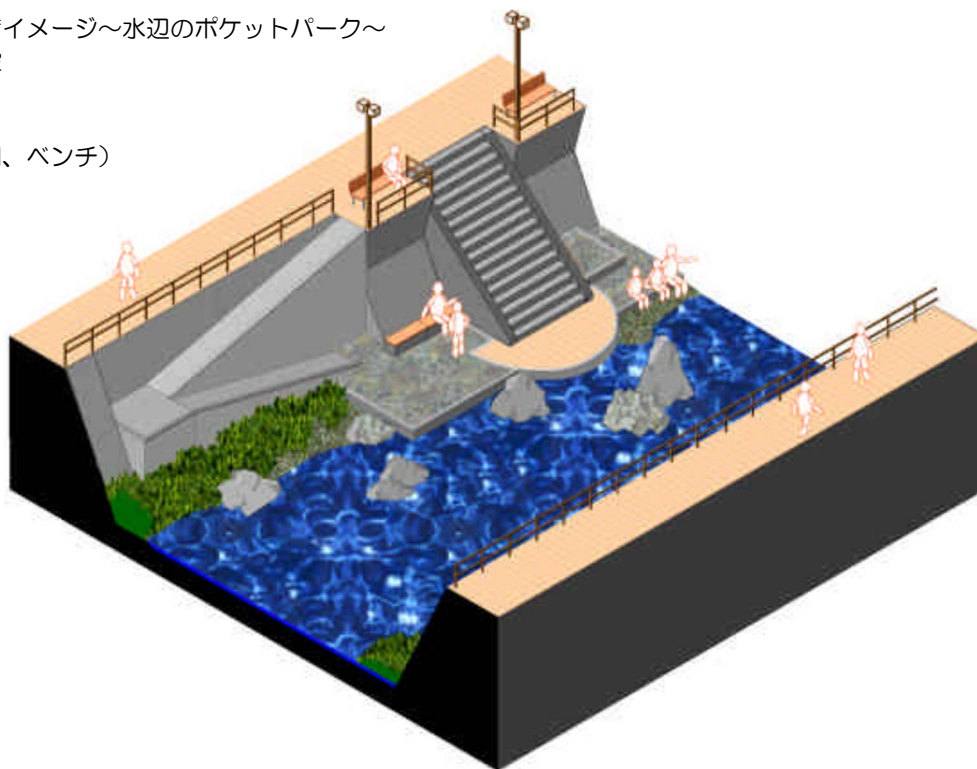
球磨川管理道路を、球磨川を眺める遊歩道として活用するため、植栽やフットライト、グレードの高い舗装等により、魅力的な歩行者空間として整備する。これらにより、美しい河川景観を誇る球磨川と対岸の人吉城跡の眺めを、観光資源として活用すると共に、他の観光資源と連携して人吉の魅力向上を図る。改修を進める大橋は、河川景観に配慮した意匠を採用し、新たな河川景観資源として活用する。

○その他河川ー河川空間のまちづくりへの活用ー

山田川をはじめとする市街地内を流れる河川においては、河川の防災性向上のために必要な河川断面を確保しながら、河川の親水性を高める水辺のポケットパーク（水辺広場、水辺に近づく階段）等の整備を推進し、積極的に市街地環境改善に活用する。また、下水道等の排水処理施設の整備により、市街地内河川や水路等の水質向上を図り、錦鯉の放流や水生生物の再生等、自然環境の復元を促進する。

■市街地内河川整備イメージ～水辺のポケットパーク～

- ・水辺に降る階段
- ・親水広場
- ・管理道路の整備
（舗装等修景、照明、ベンチ）



人吉市まちなかグランドデザイン

人吉市復興まちづくり計画（令和3年10月版）

■人吉の歴史を語り継ぎ明るい未来を創る3つの杜

● 青井の杜（古代中世）、城址の杜（中世近世）、復興未来の杜（現在から未来）

■賑わい・交流・回遊を促進する軸

● 賑わい・交流軸 3つの杜を連携する、賑わい・交流を促進する軸の形成

● 賑わい・交流軸 周辺の拠点と連携する、賑わい・交流軸の形成

● 球磨川プロムナード軸 球磨川の魅力を活かした親水空間の形成

● 山田川親水軸 山田川の魅力を活かした親水空間の形成

● 回遊散策路 人吉の魅力を楽しめる散策コースの形成

※賑わい・交流軸、賑わい・交流連携軸、球磨川プロムナード軸、山田川親水軸は機能として回遊散策路を兼ねます。

■取組の推進ゾーン

● 人が集い賑わう交流拠点の形成

● 歴史・文化資源を活かした拠点の形成

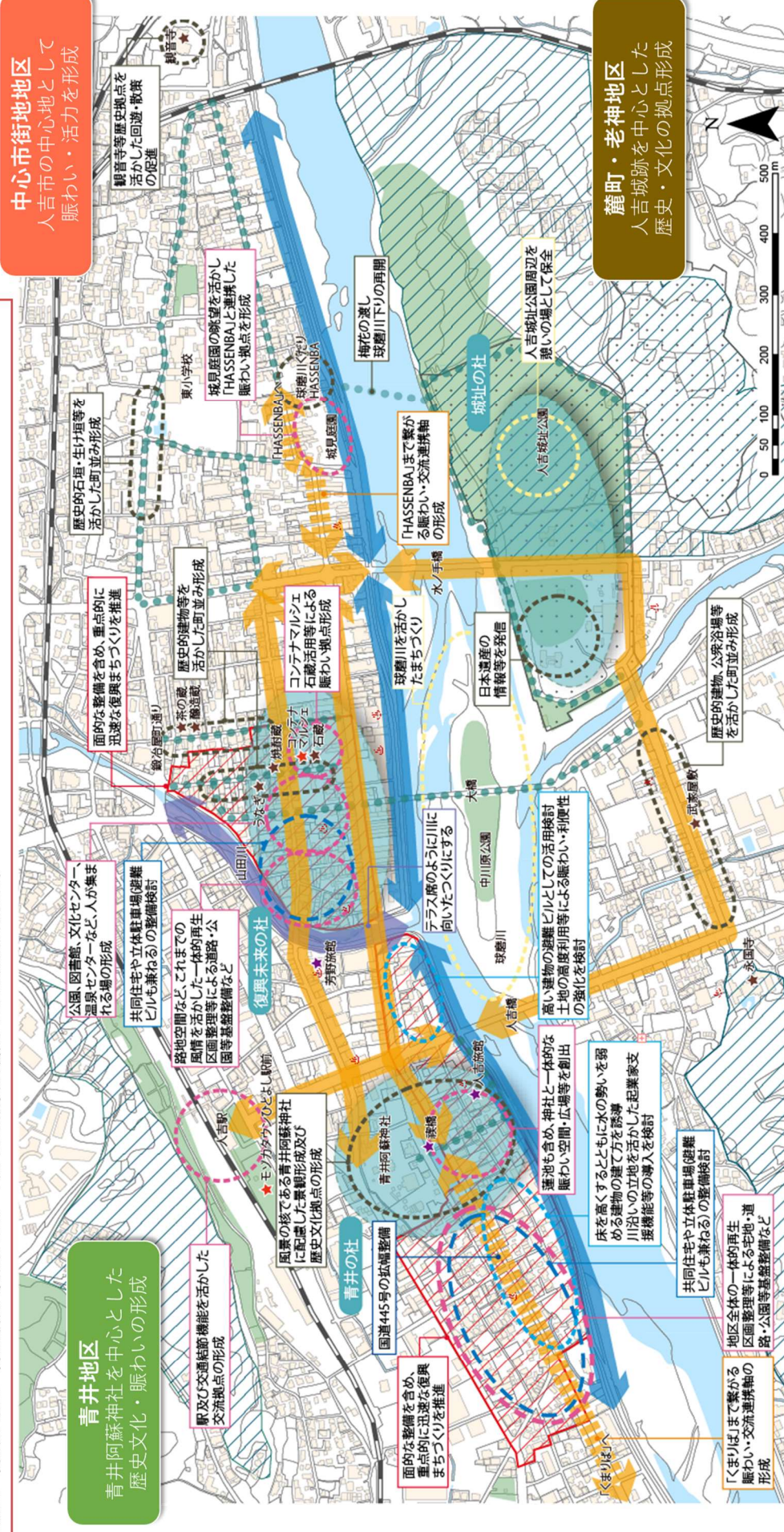
● 自然環境等を活かし、潤いを感じ憩える拠点の形成

● 避難場所も兼ねたまちなか居住の拠点の形成

● 川沿いの環境を活かした創造・交流を促進する拠点の形成

● 被災市街地復興推進地域

- 風致地区
- 公園・緑地
- 史跡人吉城跡
- 登録文化財
- 歴史的建物等
- 仮設店舗等
- 温泉・公衆浴場



中心市街地地区
人吉市の中心地として
賑わい・活力を形成

青井地区
青井阿蘇神社を中心とした
歴史文化・賑わいの形成

麓町・老神地区
人吉城跡を中心とした
歴史・文化の拠点形成

■ 土地利用方針等 (案)

※復興まちづくり計画をふまえた土地利用方針等 (案) です。
 具体的な取組み内容は、決定事項ではなく今後の関係者調整を含めた具体化への精査・検討が必要です。

被災市街地復興推進地域 (中心市街地地区) 土地利用方針 (案)

凡例		
歴史的町並み形成ゾーン	公園・交流広場整備	
まちなか居住ゾーン	広広場整備	
飲食・娯楽ゾーン	※整備箇所の特例	
交流の柱ゾーン	球磨川プロムナード	
職住共存ゾーン	山田川親水軸	
観光宿泊ゾーン	民間活力による賑わい創出	
	交流・文化施設検討候補エリア	
	歴史的建物の保存・活用	
道路整備 (現況通り)	被災市街地復興推進地域	
道路整備 (要整備)		
道路整備 (要整備※道路線形検討区域)		
道路整備 (要整備※整備箇所検討区域)		

被災市街地復興推進地域 (中心市街地地区) 道路整備方針 (案)

- ・(都) 相屋町南町線は、拡幅整備 (計画幅員16mでの整備) により、消防・避難等に資する2車線の車道と、安全で快適な両側歩道の確保を図る。
- また、市外から中心部への導入路 (ゲート) として道路空間及び沿道景観の景観形成を検討する。
- ・道路の要整備箇所 (※整備箇所検討区域) については、区画整理、直接買収、地区計画等を比較検討した上で、スピード感のある手法選択を行う。

- ・道路整備に合わせたまちなか居住の誘導を検討。
- ・コンテナマルシェ等でのチャレンジャーズ等も居住者に想定。

- ・既存の建物をリノベーションし、地元食材を活かした飲食店、仕事セレクトショップ、地元の味日替わりマキキッチン、スナック文化の継承等様々な交流を促す。

- ・現在の賑わいの中心であるコンテナマルシェがある。
- ・隣接する空き地、空き家を活用し、民間主体で活性化に取り組みむことを検討。

- ・国道445号沿いは、歩いて楽しい賑わいづくりを図る。
- ・イスマミが再建中。

- ・あゆの里、鍋屋旅館を中心に宿泊して観光する取り組みを検討。
- ・球磨川へのアプローチ路確保を検討。

- ・散策路の検討、緑化の推進、桜並木等の検討、川沿いの足湯等を検討。
- ・石垣等の自然素材活用を検討。

